

文軍陣地固守に對し遂次全線に亘り兵力を増強
攻喜ヲ企図スルモ馬操ノ色探シ向北上原以西
面ノ敵ハ遂次友軍陣地ニ進出支隊側面より砲轟ヲ用
始シ来ル

10 第一中隊宮垣曹長以下三名ノ斬込隊ハ晋天間野
高附近ニ潛入シ多大ノ成果ヲ收メ帰還部隊長ヨリ
賞詞ヲ受ク

11 四月二十日以降軍直轄重砲二門高射砲六門
幸地附近ニ進出シ支隊ニ面シ戦斗ニ協力ス
支隊ハ師団命令ニ基キ柵原陣地ヲ砲々送固守シ

12 軍命令ニ依リタル各全線一斉ニ攻喜ヲ策スルモ第一
次攻勢成功ヲ見ズ
四月二十五日師団命令ニ依リ要固其三陣地ヲ
第三十四師団歩兵大隊ニ移讓シ前田一〇五高地附
近ニ鞏進ス

14 四月七日—四月二十五日間ニ於テ敵ニ與ル損害
敵戦死傷推定一五〇〇
敵戦車擱坐炎上一五
重機輕機鹵獲一〇小銃一五〇
各隊受ケル損害
破壊山砲一歩兵砲一重輕機一五
擲彈筒一五小銃五〇

15 第五中隊長八木中尉戦死
第四中隊長吉林中尉負傷
步兵砲中隊長長峯大尉戦死(四月八日)
下士官以下戦死傷約二百名
第三中隊長代理飯田文吾中尉
爾後作業小隊ヲ伴ヒ指揮
步兵砲中隊長代理森至
戰半經過ノ概要

四 戰半經過ノ概要
至四月二十五日要固其四

3Bn 220
2Bn 320

1. 四月二十五日支隊主力前田附近ニ集結
部隊本部ハ一〇五高地中央ニ位置又戦車配備要
因其由、如シ

2. 支隊前田附近ニ転進後左記部隊支隊ニ配属サル
ハ主力
二十四師團第一大隊主力

3. 支隊長右、部隊ヲ以テ前田附近陣地ヲ強化スル
共ニ斬込戦術ヲ実施ス
独立機関銃一ヶ中隊

4. 支隊ノ致命傷トナル地矣ハ為朝岩ニシテ川崎中隊
（中隊）ニ之カ死守ヲ命ズ敵ハ之カ占領ヲ企圖
數包未龍襲シ未ルヲ其ノ都度棄退彼我戦死傷
續出ス

5. 敵ハ前田陣地ニ對シ晝夜間ヲトハズ銃爆棄及
艦砲射撃ヲ實施地上砲下ト相族ヲ陣地奪取ニ狂

奔ス彼我ノ距離三〇一五〇米ニシテ主トシテ近接戦ヲ
開始四月二十七日頃ヨリ戦車支隊右翼方ヨリ迂回火
焰放射機ヲ以テ一〇五高地背後ヨリ攻撃シ未リ遂ニ仲
前田北側ヨリ地線ハ一般ニ馬乘攻撃ヲ受タルニ至リ
川崎中隊敵火焰放射機ニ依リ全滅シ鳥朝岩ヲ奪
取セ

6. 左翼進出ノ山一大隊ハ敵ノ猛攻ヲ受テ仲前部落ヨ
リ後退五月一日頃ヨリ仲前村ハ完全ニ敵ノ手中ニ落ッ
僅カ大隊長ノ指揮下ハ兵力一〇〇名支隊本部ハ到
着ニタルニ過カス其ノ他ハ完全ニ手中ニ落ッ

7. 尚前田村部落ニ進入セル敵ニ對シテハ独機掩護射
撃ト相族ヲ夜間山一大隊ヨリ斬込ヲ行ヒ之カ裏退
ニ努力ノカニ成功ニ至ラス

8. 敵ハ遂次仲前前田部落ヲ占領兵力ヲ増強シテ
一擧ニ首里腹郭ヲ討スル攻撃ヲ準備中ナリ

6